



創薬・バイオ×AIの次なる技術突破に対応する
バイオ投資の目利きをケース・スタディに基づいて行う
人材開発プログラム。

慶應大学先端生命科学研究所での実習を始め、
斯界のキーパーソンと議論する充実のカリキュラムをご用意。
先端研究者や有望ベンチャー、投資家、政府関係者との
強固なネットワークも築けます。

第7期
(通算24期)

バイオインベストメントギルド(BIG)

主催：(株)宮田総研

わが国の首相交代、さらに米国大統領選挙によって世界は政治的に流動化が深まった。ロシアのウクライナ侵攻や中東地域での戦争により地政学リスクも高まっています。

一方、2024年1月から米国NASDAQ市場は急回復、バイオ・ベンチャーの上場も再開しました。日本の東証グロースは2023年第二四半期からバイオ・ベンチャーの上場が始まり、今年は9月末の段階で、過去最多の5社のバイオ・ベンチャーが上場に成功しました。この背景には米国の政策金利の緩和と米国政府の国債乱発による流動性の供給があります。私はソフト・ランディングを認めるほど楽観的でなく、11月5日の大統領選挙までの極めて不自然な政治的景気浮揚であると考えています。まず1年から2年以内にリセッションを避けることは難しいでしょう。今年のバイオ・ベンチャーは投資ウィンドウを開いたことを利用して、資金調達や上場などを急がなくてはなりません。

30年間のデフレを打破するため、我が国の岸田政権が大胆なベンチャー振興策を打ち出してきました。驚いたことに、2022年度の補正予算で経済産業省は1500億円ものベンチャー企業に対する補助金を確保、真水の資金が我が国のベンチャーにも投入されつつあります。やっと、欧米では当たり前であったベンチャー企業振興が取り上げられるようになったのです。バイオ・ベンチャーの起業や事業開発に対するリスクも下がりつつあります。大企業においても終身雇用制度が完全に揺らぎ、若者の流動化が本格化してきました。石破新政権になり政治的混乱が継続し、2025年には先進国で景気後退が予測されていますが、不況期こそ開業率が向上し、次の時代を担うベンチャー企業誕生のチャンスが増すのです。

今や世界の新薬の8割が3000社以上バイオ・ベンチャーによって創製され、100数10社に過ぎない製薬企業は創業の主人公の座から追われています。ドラッグ・ロスの一つの重大な原因に、我が国のバイオ・ベンチャーの起業数と新薬開発力の不足があることが認識されてきました。これを根本的に解決するためにはバイオ産業や世界の未来を見通し、事業や起業を推進する目利き人材養成が不可欠なのです。

既に24年間も継続している、バイオ・インベストメント・ギルドでは、バイオ研究開発、投資、産業政策のキーマンを講師として招き、近未来のバイオ産業やバイオ研究を洞察する議論を参加者と展開いたします。また、更に成長しつつある鶴岡バイオクラスターにおける実習とバイオ・ベンチャーの若き経営者との交流会も予定しています。業種を超えた参加者の交流は、視野を拡大、イノベーションを育むネットワークを形成するのです。

昨年はバイオとAIの融合を一つの柱として議論を進めて来ました。今回は、低分子の復権にも注目、低分子から中分子、そしてバイオ医薬まで幅広い創薬で進行中のイノベーションに焦点を当てます。

この機会に、貴社の有望な人材のご参加をいただき、未来を拓くバイオ・ベンチャーのコミュニティに是非、貴社がご参加いただく契機としていただきたく、第7回BIGを案内申し上げます。



株式会社 宮田総研 代表取締役社長 宮田 満



第7期 バイオインベストメントギルド(BIG)

目的

バイオベンチャーに投資を行い、バイオ産業を成長させる投資人材を育成する。国内外のBest&Brightestの才能との連携を提供し、技術突破を実現する。

カリキュラム

1 セミナー

原則第2金曜日 18時から20時半+講師を囲んだV懇親会
単なる座学ではなく、討議を中心に展開
毎回、市場や技術に関する俯瞰的レビューと投資のリスクを解説
最先端の研究者と有望ベンチャーのキーマンを講師として招聘
講義のハンドアウトをクラウドで可能な限り提供します

2 実習 鶴岡までの往復交通費は別途負担願います、参加者は抽選で選抜)

2025年9月予定、もしくは10月初めの金曜日と土曜日に山形県鶴岡市の慶應義塾先端生命科学研究所で、遺伝子操作から最先端のメタボローム解析までを体験します。初歩の初歩から説明いたしますので、まったく未経験の方でも参加できます。実際に実験して、バイオを体感することが重要です。これによって実際の技術の落とし穴を見抜く力を養います。また、最先端のバイオの講義に加えて、同研究所からスピンアウトした9社のバイオ・AIベンチャーとの交流も行います。鶴岡市が全面的に支援。新型コロナによっては開催できない場合もあります。

3 参加会員専用メーリングリスト

講義の案内や実習のオリエンテーションなどをお知らせいたします。

日程：

2024年7月11日(金曜日)から開始

原則第二金曜日(8月、12月は休講)

WEB会議は18時より20時半+リモート懇親会、リアルの場合は16時から18時半

会場：

WEB会議、年3回程度のリアル・WEBのハイブリッド開催を予定

日程・会場

費用

1名 20万円(税別)

本プログラムの参加は企業単位で承ります。参加費用は受講生1名当たり20万円。2名参加希望の場合は40万円です。3名以上の参加は原則としてお受けできません。1名の受講生が全コースを履修することが望ましいですが、代理出席も認めております。講義代、実習費用、資料代も含んでおります。

一人が全コースを履修することが望ましいですが、代理出席も認めております。講義代、実習費用、資料代も含んでおります。

支払い方法：4ページ目の申込書をPDFでメール添付送信していただいた後、請求書を送付させていただきます。指定の口座にお振込み願います。



第7期 **バイオインベストメントギルド**(BIG)

2025年

7月 **オリエンテーリング リアル・WEBハイブリッド・セミナー**
参加者プレゼン+「バイオ産業の最新潮流」

8月 休 講

9月 **低分子創薬の復権 AI×化学**

(JT、理論創薬研究所)

鶴岡実習 [9月の金・土曜日に開催]

バイオ実習(メタボローム等)と鶴岡クラスターのベンチャーと交流

(慶應義塾大学先端生命科学研究所)

10月 **AI創薬の夢と現実**

(Elix、MOLCURE)

11月 **マルチオミックス×AIは医療・創薬をどう変えるのか?**

(国立がん研究センター、東京大学)

2026年

1月 **新春、2026年のバイオ・ベンチャー大予測**
リアル・ハイブリッド

(2025年に上場したバイオベンチャー企業のCEO/CFO)

2月 **再生医療・遺伝子治療の薬効の手ごたえ**

(Heartseed、遺伝子治療研究所)

3月 **mRNA医薬の実用化と立ちはだかる壁**

(Meiji Seika ファルマ、Crafton Bio)

4月 **中枢神経疾患開発のブレイクスルー**

(理化学研究所、藤田医科大学)

5月 **肥満薬新薬開発は終わったのか?**

(NB健康研究所、東京科学大学)

6月 **爆発する中分子創薬**

リアル+ハイブリッド

(中外製薬、PrismBio)

2025年7月11日金曜日から開催開始

第7期 バイオインベストメントギルド (BIG)

申込書 (2025年 - 2026年) 55社限定先着順

企業単位で申し込みを承ります。下記に必要事項を記入し、PDFでメール添付送信願います。

申込期限：2025年6月20日(金) 必着

送信先：manman5453@hotmail.co.jp (宮田宛て)

管理 No.VC

会社名				
所属部署				
申込者氏名	セイ 性	メイ 名		
ご住所	□□□□-□□□□			
TEL	— —	FAX	— —	
E-mail				
請求書送付方法	どちらかにチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> メール添付 <input type="checkbox"/> 郵送			
請求書送付先	会社名			
	所属部署			
	ご担当者名	セイ 性	メイ 名	
	ご住所	□□□□-□□□□		
	TEL	— —	FAX	— —
	E-mail			

お問い合わせ

(株) 宮田総研 宮田 満 manman5453@hotmail.co.jp 090-2435-2114